

Quick Value[®]の新機能と活用事例

1. はじめに

Quick Valueは、当社が70年以上にわたって蓄積してきたふっ素樹脂加工のノウハウを集約して開発したデジタル調達サービスである。PDF形式の2D図面と、STEP形式の3Dモデルのいずれにも対応し、所定の図面をアップロードして数量を入力すると価格と納期が2時間以内に得られる。法人であればアカウント登録後すぐにサービスを利用出来る。登録、及び見積りは無料で、料金が発生するのは通常の取引と同様に発注した製品の代金のみである。本報では2024年3月のサービスリリース以降に新たに追加された商材や機能、更に今後開発を予定している機能について紹介する。また、後半ではQuick Valueを利用したユーザーの声を取り上げる。

2. 新規対応材質とオプションの紹介

2-1) エンプラ材質の追加

PTFE以外の樹脂材質も見積依頼したいという要望に応え、2024年10月よりQuick ValueでPEEKやPOMなどのPTFE以外の樹脂材質についても見積依頼が可能となった。PTFEの見積依頼と同じ操作で、他の材質も依頼が可能である。新しくなった見積依頼画面をFigure1に示す。使用する材質のメーカーや品番の指定がある場合は、図面や備考欄に記載頂ければ指示の内容に応じて見積りが可能である。現在はPTFE以外の材質は個別見積りのみの対応となるが、2025年末ごろより順次PTFE以外の材質も自動見積りに対応する予定である。

図面No.

数量 pc

数量を追加

材質

材質について ?

PTFE (バルフロン)	充てん材入りPTFE (バルフロン)	変性PTFE (EX1)	変性PTFE (EX2)
バルフロンは株式会社バルカーのふっ素樹脂製品の登録商標です			
PFA	PCTFE	PVDF	PEEK
MCナイロン	POM	PVC	PMMA
UHMWPE	HDPE	PPS	PBI
PEI	PI	PP	PSU

グレード

カラー

アニール済素材

精密洗浄

精密洗浄なしは、切削法を使用して加工する場合は標準で脱脂洗浄をいたします。

備考

Figure1

2-2) コストレポート

樹脂切削加工の部品コスト内訳は、素材費／段取り費／加工費／その他費用に大別される。これらのコストを把握することは、VA/VE活動において重要なポイントである。部品を委託して発注する場合、サプライヤーの協力によりコスト内訳が得られることもあるが、一般的には非開示、もしくは素材費と加工費の2分類開示にとどまることが多い。

本質的なVA/VE活動を行うには、部品のコスト構造を把握し、どこがコストの大きなウェイトを占めているのかを判断したうえで、狙いを定めて設計までさかのぼり、アイデア出し・工夫・解決を行うことが望ましい。

素材費のウェイトが高い場合は、材料の変更や素材定格サイズを考慮した最適数量の把握、製品サイズの見直しによる素材歩留まりの改善、面切削の要否などが考えられる。

段取り費のウェイトが高い場合は、段取りの性質を把握したうえで、数量ロットによる解決が可能なのか、形状に起因するものなのかを分析することで、最適解が見つかる可能性がある。

加工費に関しては、部品の機能上で重要ではない箇所に加工コストがかかっている事例もあり、部品の機能と加工コストとのバランスを把握することがヒントになる場合が多い。

これらコストの分解と透明化を行うことで、VA/VEのアイデア出しや本質的な解決策へのヒントになると考えられる。

Quick Valueでは、図面情報から素材・加工コストを分析する仕組みがあり、このプログラムを応用することで、VA/VE活動に役立つコストレポート発行機能を開発中である。Quick Valueコストレポートは、所定の図面・数量に対し、単価の内訳を表示出来る。

コストレポート機能は、図面をアップロードすることで無料で利用出来る予定である。ぜひ、VA/VE活動にご活用いただきたい。また、今後の開発計画として、数量を変更した際のコスト比率の変化や、材質を変更した場合の影響をシミュレーション出来る機能の実装も検討している。

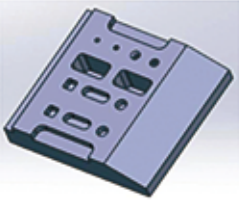
従来のVA/VE活動は、サプライヤーの協力のもとでコスト内訳開示の交渉などを行う必要があったが、Quick Valueではより気軽にコスト分析やシミュレーションを実施出来ることで、設計サイクルのスピード化、及び高付加価値化に貢献したいと考えている。

2-3) 再発注機能

従来は一度発注した製品を再度発注するには、改めて図面をアップロードし見積依頼を行う必要があり、生産工場も初回発注工場とは異なる可能性があったが、再発注機能を用いることで、前回と同じ工場に再度発注することが可能となる。また、最終発注日から1年以内であれば、初回発注時にかかる初期費用を除いた価格で発注することが可能である。

2-4) WEBサポート

Quick ValueではWEB面談予約機能を利用することで、バルカーの樹脂加工品を専門的に取り扱う営業員に相談することが可能である。材質や形状など設計段階での相談、品質や購買に関わる契約、量産に関する相談など個別に相談した上で利用することが可能である。また、Quick Valueを利用する中で急ぎ確認したい場合はチャット機能を利用することで、専属のサポートデスクが問い合わせ対応をする。

コストレポート		
	材質 : PTFE	コスト要素 TOP3
	数量 : 1pc	段取り
	単価 : 3,850円	CAM作業 35分
		素材チャック 15分
部品名 : ブロック 寸法 : X 150 Y 180 Z 16	コスト比率	加工面切替 10分
	素材費 25%	加工
	段取り費 50%	タップ 4 分/pc
	加工費 20%	エンドミル 1.1分/pc
	その他 5%	フェイスミル 1.8分/pc

※コストレポートは開発中の機能であり、一部内容が異なる場合がある。

Figure2

過去の発注内容で再注文

注文No.

EX00000122

発注No.

M500002170

発注No.

W500001245

品名No.

RING d10xW1xT1.25

3Dデータファイル

2Dデータファイル

材質

PTFE (パルフロロン)

規格

注釈事項

価格優先

出荷日 2024/04/17

合計金額

2,016円 (税抜)

数量	品名	単位	金額
32	PC	63	2,016

過去の発注内容で数量を変更して再見積

数量

PC

見積をする

※ 数量は再見積時にお知らせします

※ 数量がゼロになる場合は再見積時に再入力してください。

※ 数量が多くなる場合は再見積時に再入力してください。

年間を通じてご注文をご検討の方は、こちらからお問い合わせください。

Figure3

3. 利用者の声

Quick Valueを複数回利用いただいているアポロ株式会社の活用事例を紹介したい。アポロ株式会社は株式会社アドバネクスの正規独占販売店として、同社が作る「タングレス・インサート」を安定して供給している。「アイサート」は方向性がない次世代インサートとして様々な産業に採用されている。同社はふっ素樹脂用のアイサート開発試験片としてPTFEのプレート調達している。従来の調達方法ではコストや納期の面で課題を感じていた。Quick Valueを利用することで、コストは従来の1/4となり、製品も発注から数日で納品され開発コストの削減や開発スピードの向上に貢献出来ている。

4. おわりに

Quick ValueはWEB上での見積り受発注システムにとどまらず、Quick Valueを起点としたお客様とバルカーをつなぐプラットフォームとして今後も顧客へ価値を提供していく。今後もお客様のニーズを拾い、迅速にQuick Valueのアップデートを行い進化していく所存である。

※ Quick Valueは株式会社バルカーの商標または登録商標です。



菅本 竜司
デジタル戦略本部



佐藤 俊輔
高機能樹脂・製品本部
調達グループ